

表-2 ダム建設事業の予算の枠組み

事業名		国の負担率・補助率	
直轄事業	特定多目的ダム建設事業	大規模事業 7/10 ※1 一般事業 2/3 ※2	
	直轄河川総合開発事業	大規模事業 7/10 一般事業 2/3	
	直轄流況調整河川事業	一般事業 5.5/10	
水資源機構事業	建設事業	大規模事業 7/10 ※1 一般事業 2/3 ※2	
補助事業	補助多目的ダム建設事業	(一級河川) ※3 大規模事業 5.5/10 一般事業 1/2 (二級河川)	1/2 ※4
	補助治水ダム建設事業	(一級河川) ※3 大規模事業 5.5/10 一般事業 1/2 (二級河川)	1/2 ※4

※1大規模事業：公共費120億円を超えるもので、かつ貯水容量800万m<sup>3</sup>以上(ダム事業の場合)  
 ※2北海道は8.5/10、沖縄は9.5/10  
 ※3北海道の大規模事業は7/10、一般事業は2/3  
 ※4北海道は5.5/10、奄美は6/10、沖縄は9/10

<参考文献>

- 1) 国土交通省水管理・国土保全局、「ダムコレクション」、<https://www.mlit.go.jp/river/damc/index.html>
- 2) 国土開発技術センター編、「改定 解説・河川管理施設等構造令」、技報堂出版
- 3) 国土交通省水管理・国土保全局、「河川砂防技術基準」、[https://www.mlit.go.jp/river/shishin\\_guideline/gijutsu/gijutsukijunn/index2.html](https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/gijutsu/gijutsukijunn/index2.html)
- 4) 財団法人ダム技術センター編集、「多目的ダムの建設」、財団法人ダム技術センター



— 次号に続く —

【著者紹介】 諸橋 拓実 (もろはし たくみ)

平成28年東北大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了。国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所調査設計課及び管理第一課、大臣官房技術調査課技術分析係長を経て現職。

Dr.クマの“健康のヒント”

心臓だから不安



昨夜のこと、動悸が打って苦しいと家人が言う。念のために簡単に診察すると、脈が早めで時々不整脈が出ている状態である。深刻な病気の徴候はないため、水でも飲んで安静にしておくよう伝え、対応が冷たいと言う。心臓が止まるんじゃないか、とも。患者さんはこういう気持ちなのだ、と感じる。心臓で起きていることだから不安に感じてしまうは当然だ。不整脈は心臓の拍動が早い、遅い、不規則に打つなどの状態なのだが、心配ないことの方が圧倒的に多い。もっとも多いのが期外収縮といい、リズムからずれて早いタイミングで打ってしまうものだ。私は患者さんに、これは心臓のしゃっくりみたいなものでほとんど心配はないが、ずっと続いた

り、めまいが起きるようなときは詳しく検査しましょう、とお話ししている。一方で、詳しく調べましょうと必ずお願いするのが、脈が1分間40回未満で意識が遠のくとき、運動もしていないのに突然脈が速くなって息苦しさなどの症状が出る時、脈のリズムがばらばらで拍動が弱々しいとき、などである。現在、アップル・ウォッチなどのデバイスを使って不整脈をモニタリングできるようになっているし、適切な治療法も進歩している。よい時代になったものだと思う。家人の不整脈は私のアップル・ウォッチで確認したことは言うまでもない。

北里大学医学部 教授 熊谷 雄治